



「わらべうた」を開催しました。  
わらべうたには子どもの心と体の成長を促す効果があるといわれています。歌に合わせて、保護者の方と一緒に身体を動かして、子どもたちも笑顔がいっぱいでした！！



子ども家庭支援センターだより

江東区豊洲子ども家庭支援センター

(指定管理者)

社会福祉法人景行会

理事長 坂倉泰正



# かもめつうしん



2025・9月号

「世代を超えた交流の場所」

## 【ランチタイム】

- ①ランチスペースはワークショップのみとなります。
- ②ランチタイムは12:00~13:30となります。
- ③交代で多くの方にご利用いただけるよう、ご利用は1組あたり30分以内とさせていただきます。ご協力をお願いします。



## 【センターからのお願い】

- ・ベビーカーでお越しの際には廊下にて畳んでください。
  - ・自転車には自転車札を受付にてお渡しますのをつけてください。
  - ・大人の方は靴下の着用のご協力をお願いします。
  - ・靴の取り間違え防止のため、靴は親子で重ねて番号札をご利用下さい。
- ご不明な点はお気軽にお声掛けください。



## 【ひととき保育の登録について】

ひととき保育の利用登録は月曜日10時~16時(12時~13時・祝日は除く)

水曜日10時~12時(午前中のみ)

※登録に電話予約が必要です。

<予約日> 月曜日分…前の週の金曜日9:00~ 水曜日分…前日の火曜日9:00~

持ち物: 母子手帳・保護者の身分証明書。

予約が埋まり次第、予約終了とさせていただきます。

今年の夏は全国的にも高温が続き、東京都心でも猛暑日が過去最多タイ記録を更新したとニュースで聞きました。外に出ることも危険な暑さですが、豊洲みずべは毎日元気なこども達の声で大賑わいでした。

夏休みに入る前より小学生や中・高校生、大学生がボランティア活動をしたいと沢山の方が申し出て下さいました。7月には、豊洲みずべのキャラクター“かもめん”のお祭り「かもめんフェスティバル」がありました。大学生のお姉さん達が輪投げコーナーやくじ引きなど各ブースのお店番をしてくれたり、太鼓を叩いて盆踊りを踊ったり、とても盛り上がりました。また、中・高校生のお姉さんはひろばに来ていた赤ちゃんを抱っこさせてもらう経験をし、ぬくもりが伝わり赤ちゃんの柔らかさと繊細さに何とも言えない感覚を味わったようです。それから、赤ちゃんの頃からみずべに遊びに来ていた子が小学生になり、「こども達と遊んでみたい」「おもちゃのお片付けのお手伝いをしたい」「折り紙を作ってあげたい」という気持ちを胸に次々とボランティアさんになってくれました。ひろばでは小さなこどもとすぐに打ち解けて仲良く遊び始める姿には大人顔負けでした。そしてひろば終了前の体操の時間には、ピアノの伴奏で「とんとんひげじいさん」を弾いてくれて、赤ちゃんから大人まで手遊びを楽しむ事が出来ました。よちよち歩きの赤ちゃんを優しくサポートしたり、プログラム開始前に鈴を鳴らしてお知らせしてくれたり、クローバーや飛行機を沢山作ってくれたり……。この夏、ボランティアさんのエピソードはもっともって伝え足りない位ありますが、こども達の成長とみずべに遊びにくる親子のために一生懸命になって活動して下さった姿に、微笑ましくとても嬉しく感謝の気持ちでいっぱいな毎日でした。ありがとうございました。

お兄さんお姉さんボランティアさんと関わったこども達が何年か経ち「ボランティアになって活動したい!」と、きっと話してくれる日が来ると思うと楽しみでしかたありません。

倉橋淳子



江東区豊洲子ども家庭支援センター みずべ (江東区 指定管理者 社会福祉法人景行会)

〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-5-1-201 TEL 03-3536-7681 FAX 03-3536-7683

(相談専用 03-3536-7682)

E-mail toyosukosodate@ka.baynet.ne.jp URL <http://koto-kosodate-portal.jp/mizube/>